

令和 7 年 12 月 15 日

国家公務員共済組合連合会

理事長 松元 崇 殿

虎の門病院医療安全監査委員会

委員長 滝沢 牧子

令和 7 年度 第 1 回医療安全監査委員会 報告

虎の門病院の医療安全監査委員会規程に基づき、下記のとおり監査を実施いたしましたので、報告いたします。

〔開催日時〕 令和 7 年 10 月 21 日（火）10 時 30 分～11 時 50 分

〔開催場所〕 虎の門病院 903 会議室

〔監査方法〕

病院管理者および医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者等からの資料に基づく説明を受け、ヒアリングを行った。

〔監査委員〕

滝沢牧子委員長（埼玉医科大学総合医療センター医療安全管理学講座 教授）

飯野奈津子委員（医療福祉ジャーナリスト）

荒井有美委員（北里大学病院医療安全推進室 副室長/医療安全管理者/看護師長）

豊田郁子委員（患者・家族と医療をつなぐ NPO 法人「架け橋」理事長）

児玉安司委員（新星総合法律事務所 弁護士）

〔監査事項〕

1. 前回指摘事項と対応状況

前回指摘事項の対応状況について説明がなされ、対応されていることを確認した。

2. 監査事項

1) 医療安全にかかる委員会活動状況

法令等に基づき設置されている医療安全推進委員会（医療安全にかかる管理委員会）の出席率は 100%であり、適切に実施されている。一方、同委員会での決定事項等を報告するリスクマネージャー会議の出席率が一部低い部署があるので、委員の構成も含めて再検討し、現場の職員に確実に情報が伝わる体制を確認いただきたい。

2) 医療安全の活動状況

インフォームド・コンセントについては、同席を求める基準を定め、テンプレートの使用率や看護師の同席率が定量的に評価されて行われており、評価できる。また、ティーチバックなど、理解度の確認のための質向上の取り組みが開始されており、優れた取り組みとして今後の拡大に期待したい。

インシデント報告に基づき院内で発生している事例の検討や再発防止策の周知が行われており、実質的な優れた取り組みと評価できる。長期的な継続性の観点から、医療安全管理者、医療安全管理責任者、対策室の業務内容については、規則や規程等にも記載しておくことが望ましい。

3) 医療安全の研修

医療安全研修は受講率 100%であり、基本的な内容が広くカバーされていることが確認できた。研修内容の理解度を確認することも今後検討いただきたい。

4) 高難度新規医療技術と未承認新規医薬品の部門および委員会

担当部門および審査の委員会の体制が整えられている。申請手続きの周知が進み、運用の効率化が進んでいる点は評価できる。今後は、医薬品の適応外使用に関するリスク層別化の工夫が一層進み、医薬品安全管理責任者がより効率的に情報収集・管理を行うとともに、現場の負担を軽減する体制を期待したい。

[監査結果]

前回指摘事項に対して改善されている状況が確認できた。

インフォームド・コンセントの記載や同席に関する定量的評価はより精度を高める努力が行われ、理解度の確認も開始されるなど適切に取り組まれている。医療安全対策の活動はインシデント報告に基づき事例分析と改善策の立案が丁寧に行われており、評価できる。リスクマネージャー会議等を通じて現場にくまなく浸透させることでより一層の職員の医療安全意識の向上が期待される。

高難度新規医療技術・未承認新規医薬品等の担当部門および審査委員会は体制が整えられ、周知により運用が円滑化していることが確認された。医薬品の適応外などの情報収集管理においては医薬品安全使用に関するリスク層別化の工夫などが一層進められることを期待したい。